

<スクールアルバム>

中学部社会科見学(中3) 横須賀の記念艦三笠



中学部社会科見学(中2)
久里浜のペリー上陸記念公園



高等部のスクーリングでは、他校の仲間たちとも讚美などを通して良い交わりができました。



お願い・ご報告

- 明けましておめでとうございます。今年も主によって皆さまの健康が守られ、支えられ、各ご家庭の上に主の祝福が豊かに注がれますようにお祈りいたします。どうぞよろしくお祈りいたします。
- MA (あゆま) さん (小4) が入学しました。歓迎します。祝福を祈りましょう。
- 12月のスクールの活動、行事等は、祝福の中で行われました。お祈り、ご協力に感謝します。
- クリスマスマーケットの出店により、104,640円 (ゲーム 25,000円、クラフト 79,640円) の収益がありました。すべて新校舎建設のために寄付いたします。当日は、寒い中での活動となりましたが、皆さまのご協力に感謝します。
- ハンガーゼロの募金にご協力くださりありがとうございました。2,491円を募金することができました。
- 2月6日 (金) の当スクールを会場として実施される日本漢字能力検定に向けて、準備をしています。詳細については、後日お知らせします。なお、受検者の下校は15時15分、未受検者の下校は13時35分です。
- 年度末にあたり、2月25日 (水) ~、授業は、4限までとなります。昼食ありで、下校は14時 (水曜日は、13時40分) です。年度当初にお渡ししております、「2025年度年間行事予定」にてご確認をお願いします。
- 2月28日 (土) 9時30分~、新年度保護者説明会を行います。新年度在籍されるすべてのご家庭が対象となります。必ずご参加をお願いします。また、終了後、保護者・スタッフ清掃を行いますので、ご協力をお願いします。
- 新年度に向けて準備が始まっていきます。新入生が多くあるように、また、スタッフの体制や学習の環境、カリキュラム等の準備が整えられるようにお祈りください。

今月のみことば (暗唱聖句)

「(あなたがたは、)世にあっては苦難があります。しかし、勇気を出しなさい。わたしはすでに世に勝ちました。」ヨハネ 16:33b

「In this world you will have trouble. But take heart! I have overcome the world.」John 16:33b

祈禱課題

- 1、スクール関係者すべてのうちに神の愛と守りと喜びが満ちるように。
- 2、冬休み明け、生徒一人ひとりの生活が整えられ、学びに対しても主体的に取り組めるように。
- 3、高校3年生の進路のために。
- 4、徐々に開かれていく学校法人化への道を信仰持って皆で進んで行けるように。



のあインターナショナルスクール スクール通信 1月号

2026.Jan.1

VO1.220

〒247-0024 横浜市栄区野七里一丁目 37-10
TEL:045-891-9982 FAX:045-895-3761

「家族の恵み」

中学部担任 岩村美奈子

明けましておめでとうございます。

今年もお正月に子どもたちが帰ってきて、久しぶりに家族が集まりました。全員揃っておせち料理を囲み、嬉しい時間を過ごしました。我が家の子どもたちは3人兄弟で、すでに成人し、下の2人は学生時代から家を離れて暮らしています。昨年、異動で東京に戻ってきた下の子は、次女の住む家に同居させてもらうようになりました。特に喧嘩もなく、家事分担してうまくやっているようです。メリットがあるからではありませんが、お互いに一緒に住みたい（住んでも良い）と思えるような仲の良い兄弟に育ってくれて、親としてはとても嬉しいです。

見よ。なんとという幸せ なんとという楽しさだろう。

兄弟たちが一つになって とともに生きることは、

主がそこに

とこしえのいのちの祝福を命じられたからである。（詩篇133：1，3b）

神さまがご覧になるとこういう感じかしらと想像しやすく、わかりやすく教えられました。

ところで、神さまはこのようにも言われます。

わずかな物を持って主を恐れることは、

豊かな財宝を持って混乱するよりも良い。

野菜を食べて愛し合うのは、

肥えた牛を食べて憎み合うのにまさる。（箴言15：16-17）

もちろん食卓に、愛とともにごちそうもあるのが嬉しいですが、我が子たちが仲良くしてくれていることは、たしかに財宝やごちそうには代えがたく、ごちそうや財宝があったとしても、子どもたちが争い合っていたらと考えたら、心が痛みます。

私自身は一人っ子だったので、人生の初めには兄弟という存在を知らずに育ち、兄弟という概念を知ってからかなり長い間、感覚的には知らないままで、そういう意味では社会性を学ぶことに出遅れたと思います。よく、3人以上で社会になると言われますが、我が子たちは、小さいうちから家庭の中だけでも小さな社会が成立していて、見ていて面白かったです。私の場合は、神さまに出会って初めて、教会の兄弟姉妹という存在から、そのあたたかさ、頼もしさを知ることができましたが、ひょっとすると本当のところは今でもよくわかっていないのではないかと思います。でも、教会も、このスクールも、みんなが仲良くしているのを見れば嬉しく、お互いを思いやり合い、祈り合い、助け合ったり協力したりできるという関係は家族と同じだと実感しています。

我が家の子どもたちが小さかった頃、喧嘩しているときに、遊びに来ていた母が「じゃあ、〇〇ちゃんはおばあちゃんがもらって帰ろうか」などと言うと「ダメー！」とむきになっていたことがあります。時に関係がうまくいなくて葛藤することがあっても、心の深いところではお互いを大事に思い、守りたいと思っている、スクールもそんな大きな家族だと思います。この家族の一員とされていることを感謝し、新しい年も楽しんでいきたいと思っています。

今年も、この大きな家族の皆さまお一人おひとりに、主の恵みが豊かにありますように、お祈りします。

1月のカレンダー

日	月	火	水
4日	5日	6日	7日
S先生誕生日			
11日	12日 成人の日	13日	14日 合同礼拝(1限) 特別授業(中高 2、3限) 委員会活動(6限)
		Rさん誕生日	
18日	19日	20日	21日 学部別礼拝(1限) クラブ活動(6限)
25日	26日	27日	28日 法人化祈り会(1限) 特別授業(中高 2~4限) クラブ活動(6限)
		Hさん誕生日	

- ・ 8日(木)、冬休み明けより、通常授業・昼食を開始します。1限は、HRを行います。
- ・ 14日(水)、中高生は、特別授業として、教会の働きである「学童保育のあ」、「一般財団法人オアシス」について学びます。また、28日(水)は、「トータルフィットのあ(予定)」、「まってる」、「泉」について学びます。
- ・ 22日(木)、スタッフ特別支援研修のため、下校は14時30分です。
- ・ 29日(木)~30日(金)、小5以上は、のありーと(リトリート)を行います。小5は通い、小6以上は宿泊です。日中の活動はダイヤモンドチャペルで行い、宿泊は上郷森の家です。詳細は、後日お知らせします。
- ・ 29日(木)、30日(金)、小1~4は、スクール(クリスタルチャペル)にて特別活動を行います。内容等につきましては、後日お知らせします。両日とも下校は14時です。
- ・ 合同礼拝、学部別礼拝、法人化祈り会の保護者の方の参加は自由です。ぜひお子様と一緒にスクールの礼拝、祈り会に参加しましょう。
- ・ 保護者、スタッフ向けバイブルタイムを行っています。子どもたちが日々恵みをいただいている聖書の言葉をご一緒に味わっていきましょう。初めての方も大歓迎です。8日(木)、22日(木) 13時30分~、場所は、のあISのB教室で行います。
- ・ 資金作りのための作業手伝いは、後日お知らせします

<スクールアルバム(クリスマス編)>

本郷台駅前のクリスマスマーケットでは、ハンドベル演奏、ポップコーン販売、などなど大活躍。保護者の皆さまも手伝いありがとうございました!

スクールクリスマスで、小学部は「やまあらしぼつやのクリスマス」の人形劇を発表



木	金	土
1日 K先生誕生日	2日	3日 A先生誕生日
8日 授業・昼食開始(1限 HR) 保護者、スタッフ向けバイブルタイム	9日	10日
15日	16日	17日
22日 スタッフ特別支援研修会(14時30分下校) 保護者、スタッフ向けバイブルタイム	23日	24日
29日 ← [] のありーと (小5以上) → 特別活動(小1~4)14時下校	30日 特別活動(小1~4)14時下校	31日

子育て note

「神のなさること」

“神のなさことは、すべて時にかなって美しい。神はまた、人の心に永遠を与えられた。しかし人は、神が行うみわざの始まりから終わりまでを見極めることができない。”伝道者の書 3章 11節

クリスマスも近づいた、12月半ば、「保育園のあ」のクリスマス会に参加しました。0歳児クラスから年長さんたちまでの発表を、順番に見ることができました。幼児たちが成長過程のクラス順に登場してきて、彼らなりの出し物をしてくれる様子に触れて、私は子供たちの成長の速さに感動しました。泣く以外には、ほとんど何もできなかった幼児たちが、3歳児クラス 4歳児クラスになってくると、協調して楽器を演奏し、歌っています。それが、見ている人たちに感動を与えているのです。

次の週、私に知人からのクリスマスカードが届きました。その挨拶文とともに、小学生のお孫さんの絵が印刷してありました。その絵は近所のお絵かき教室に通う中、描いたその子の油絵でした。とても子供が描いたとは思えない、感動を与える素晴らしい油絵でした。

続いて、昨日はスクール高等部入学希望者の面談の日でした。来年度は高等部への入学を希望する生徒が6人もいて、一人ひとりに自分の人生の転機、また未来への夢について語るのを、面接者として聞いて行く中で、私自身がとても感動しました。考えてみれば、この年頃になってくると、オリンピックで金メダルを取ることもあり得る年頃ですよね。周りの人たちとの出会いや体験や刺激によって、成長期にある子供たち一人ひとり、驚くようなひらめきと能力が引き出されて、素晴らしいことができるようになっていくのです。それは奇跡と言ってもいいようなものです。

上記の御言葉のように「神のなさことは、すべて時にかなって美しい。」と心から思えるような業は、どのようにして起こるのでしょうか。子供たちが何かに無心に取り組んでいく時、また感動を覚える時、また思いがけない自分自身を発見する時に訪れます。そういったことは、彼らの周りにはいる私たちが祈り心を持って、彼らのために取りなし続けていく時に起こるのです。そのような神様の御業が一人ひとりの上に起こされていくように、是非ご自身のお子さんのために、そしてその周りにはいる人々のために、祈り続けていこうはありませんか。その神様の奇跡にわずかでも携われるのは、スクールの関係者として、この上もない喜びです。